

【平成 30 年度版】
見附市地域公共交通網形成計画 進捗状況

目標を達成するために行う事業

【目標 1】 効率的で利便性の高い公共交通網の形成

1. 市街地

事業名	①コミュニティバスの利便性向上
実施工程	平成 28 年度：バス 1 台増車（6 台） 平成 29 年度：バス 2 台増車（8 台）運行ルートの見直し 平成 30 年度：バス 2 台増車（10 台）
28 年度	小型低床バス 1 台導入（6 台）
29 年度	増車 0 台、バス車庫整備により運行時間短縮
30 年度	増車 0 台（計画 10 台→実績 6 台）
令和元年度に 1 台増車を予定：10 月以降 7 台で運行	

2. 周辺地域

事業名	②路線バスの利便性向上
実施工程	平成 28 年度～：接続改善など改善策の協議、実施
28 年度	ダイヤ改正時等に連結状況についてバス事業者と協議を実施
29 年度	継続実施
30 年度	継続実施

事業名	③デマンド型乗合タクシーの利便性向上
実施工程	平成 28 年度：新規 1 地区運行開始 平成 29 年度～：乗継利便性向上策の検討、実施
28 年度	10 月より新たに明晶町で運行開始
29 年度	8 月に新ダイヤ周知（ほっとぴあ追加）
30 年度	9 月に増便（1 日 5 往復⇒6 往復）

事業名	④コミュニティワゴンの活用
実施工程	平成 28 年度：新規地域コミュニティ組織に 1 台貸与 平成 29 年度：新規地域コミュニティ組織に 1 台貸与
28 年度	新規結成コミュニティである「まちなか東コミュニティ」に対しコミュニティワゴンを 1 台貸与
29 年度	新規結成コミュニティなし
30 年度	新規結成コミュニティ組織へ令和元年度貸与予定

3. 広域（周辺市町村・首都圏）

事業名	⑤路線バスの利便性向上
実施工程	平成 28 年度～：接続改善など改善策の協議、実施
28 年度	ダイヤ改正時等に連結状況についてバス事業者と協議を実施
29 年度	継続実施
30 年度	継続実施、塩線廃止に係る事前協議
令和元年度	下塩線廃止（10 月）

事業名	⑥首都圏へのアクセス向上
実施工程	平成 28 年度～：新幹線との接続を意識したデマンド型交通を検討 平成 28 年度～：栄高速バス停とのアクセスを検討
28 年度	市内タクシー事業者と事業化について検討
29 年度	高速バス停留所について検討
30 年度	高速バス停留所について検討

連携強化

事業名	⑦公共交通の連携強化
実施工程	平成 28 年度～各種公共交通の接続改善の検討、実施
28 年度	バス事業者と接続状況について確認
29 年度	継続実施
30 年度	継続実施

事業名	⑧交通結節機能の強化
実施工程	平成 28 年度：多機能待合所選定 平成 29 年度：整備開始 平成 30 年度：利用開始
28 年度	多機能待合所について選定作業を行ったが、将来的な運行ルートが変更する可能性がある為保留中

事業名	⑨乗継ぎ利便性の向上
実施工程	平成 28 年度：利用促進策の検討、協議 平成 29 年度～：協議が整い次第実施
28 年度	関係機関との協議を実施
29 年度	協議未実施
30 年度	関係機関との協議を実施

【目標2】公共交通の魅力を高める環境づくり

1. 利用しやすい施設の整備

事業名	⑩低床車両導入の促進
実施工程	平成28年度：低床バス1台導入 平成29年度：低床バス2台導入 平成30年度：低床バス2台導入
28年度	小型低床バス1台導入
29年度	増車0台
30年度	増車0台（再掲） ※令和元年度1台増車予定

事業名	⑪バス車両の車外ラッピング
実施工程	平成28年度～：新規バス導入時、随時ラッピング実施
28年度	導入車両にラッピング実施
29年度	増車0台
30年度	増車0台（再掲） 車内ラッピングを3回開催

事業名	⑫バス停待合所の改善
実施工程	平成28年度～29年度：コミュニティバスシェルター整備 平成28年度：路線バス運行地域待合環境改善策の検討 平成29年度：路線バス運行地域待合環境改善策の開始
28年度	8カ所にバスシェルターを整備 路線バス運行地域の待合環境改善に対する県内補助制度について調査を実施
29年度	ほっとぴあ前（上下）2カ所を整備 路線バスバス停町内管理状況について調査
30年度	メディカルパーク東1箇所を整備（運用は平成31年度から）

事業名	⑬コミュニティバス車庫の整備
実施工程	平成28年度：車庫整備 平成29年度：利用開始
28年度	車庫整備実施
29年度	利用開始 消雪パイプ整備
30年度	消雪パイプ整備 外周フェンス バスシェルター整備

事業名	⑭見附駅周辺整備
実施工程	平成 29～令和元年度：駅前周辺整備 令和 2～4 年度：駅西口周辺整備
28 年度	見附駅周辺まちづくり協議会を開催し、周辺整備の進め方を協議
29 年度	第 2 回協議会（5 月 30 日）、第 3 回協議会（8 月 9 日）を開催 見附駅交通対策見直し案、交流空間のイメージ提案について協議
30 年度	第 4 回協議会（6 月 19 日）を開催 駅周辺整備基本計画書を策定、駅周辺事業整備事業の全体的なスケジュールを確認

事業名	⑮自転車利用環境（自転車走行空間）の整備
実施工程	平成 28 年度～：自転車ネットワーク計画の策定 平成 28 年度～：計画策定後、計画に合わせて整備
28 年度	自転車ネットワーク計画を策定 計画に基づき自転車レーンを見附駅～市道十二の木線までの約 1.5 キロを整備
29 年度	計画に基づき見附駅西口～今町柳橋線約 1.8 キロを整備
30 年度	計画継続中

事業名	⑯レンタサイクルの利便性向上
実施工程	平成 28 年～：継続実施、新規貸出場所の検討
28 年度	事業の継続実施、老朽自転車の入替
29 年度	図書館を新規サイクルステーションとして整備（7 月～）
30 年度	継続中

2. 利用しやすい情報提供の整備

事業名	⑰利用しやすい情報提供の整備
実施工程	平成 28 年度～：共通時刻表の内容検討、作成 平成 28 年度～：バス停における情報提供の改善
28 年度	バス停におけるルート図、時刻表の更新
29 年度	バス車両のルート掲示の拡大、時刻表の更新
30 年度	バス車両のルート図、時刻表の更新

【目標3】公共交通を支えるシステムづくり

1. 自家用車に過度に依存しない交通行動の促進

事業名	⑱公共交通に関するPR、モビリティマネジメントの推進
実施工程	平成28年度～：継続実施
28年度	広報等によるPR活動、実態調査を実施
29年度	広報、コミュニティかわら版によるPR活動
30年度	広報、コミュニティかわら版によるPR活動、ラッピングバスの運行

事業名	⑲観光施設・イベントとの実施
実施工程	平成28年度～：継続実施
28年度	見附まつり、大風合戦時に利用キャンペーンを実施。見附まつり時には臨時増便も運行
29年度	継続実施
30年度	継続実施

2. 運賃収入以外の収入源の確保

事業名	⑳バス車内・バス停などでの広告掲載
実施工程	平成28年度～：継続実施
28年度	広告収入：69,156円 HP、車内広告による掲載呼びかけを実施
29年度	広告収入：78,258円 HPのよる掲載呼び掛けを実施
30年度	広告収入：113,468円 HPのよる掲載呼び掛けを実施

事業評価指標

指標①	コミュニティバス年間利用者数
目標値	現況値（平成26年度）：110,225人 ↓ 中間値（平成30年度）：190,000人 ↓（令和元年度中間見直し）：186,000人 目標値（令和2年度）：195,000人
30年度	182,155人
主な取組	・ダイヤ改正 運行間隔を30分⇒29分⇒28分（平成30年度） 運行本数55便⇒61便 ・バス停上屋整備（1箇所、運用は令和元年度から）

指標②	路線バス市内運行系統数
目標値	現況値（平成 26 年度）：5 系統 ↓ 中間値（平成 30 年度）：5 系統 ↓ 目標値（令和 2 年度）：5 系統
30 年度	5 系統
主な取組	・平成 30 年 4 月 コミュニティバスダイヤの改正を行い、交通結節機能、公共交通連携の強化

指標③	デマンド型乗合タクシー年間利用者数
目標値	現況値（平成 26 年度）：2, 6 8 9 人 ↓ 中間値（平成 30 年度）：3, 3 0 0 人 ↓ 目標値（令和 2 年度）：3, 5 0 0 人
30 年度	3, 3 8 2 人
主な取組	・平成 30 年 9 月 1 日 5 往復から 6 往復へ増便 ・上記地域にチラシ・新ダイヤを全戸配布 ・広報による特集記事掲載広報 9 月号

指標④	コミュニティワゴン年間利用者数
目標値	現況値（平成 26 年度）：6, 8 1 6 人 ↓ 中間値（平成 30 年度）：7, 0 0 0 人 ↓ 目標値（令和 2 年度）：7, 1 0 0 人
30 年度	6, 4 3 6 人
主な取組	・定期運行本数の充実化（庄川平地区） ・コミュニティワゴン活用の PR

指標⑤	レンタサイクル年間利用者数
目標値	現況値（平成 26 年度）：909 人 ↓ 中間値（平成 30 年度）：1,250 人 ↓ 目標値（令和 2 年度）：1,500 人
30 年度	1,351 人
主な取組	・利用促進の広報活動

指標⑥	公共交通空白地帯の解消
目標値	現況値（平成 26 年度）：87.2% ↓ 中間値（平成 30 年度）：90.0% ↓ 目標値（令和 2 年度）：92.0%
30 年度	91.1%
主な取組	新たなデマンド運行区域の検討

見附市地域公共交通網形成計画の中間見直しについて【目標値の変更】

平成28年3月30日に作成した見附市地域公共交通網形成計画において、計画の進捗状況や目標の達成状況に応じた中間見直しを行いたい。

(見附市地域公共交通網形成計画5-5-2)

コミュニティバスについて

1. 増車計画

		計画	実績	見直し
見直前	平成28年度	6台	5.5台	—
	平成29年度	8台	6台	—
	平成30年度	10台	6台	—
中間見直	令和元年度	10台	(6.5台)	7台
	令和2年度	10台	—	7台

※全国的なバス運転手不足のため、現状のドライバー数では7台体制が限界であるため。

2. 利用者数

		計画	実績	見直し
見直前	平成26年度	—	110,225人	—
	平成30年度	190,000人	182,155人	—
中間見直	令和元年度	195,000人	—	186,000人
	令和2年度	200,000人	—	195,000人

※200,000人の利用者計画は、10台体制が前提であるため、現状に合った数値へ見直しを行う。